

6月議会が5月30日から6月26日まで行われ、6月7日から本会議で論戦が本格化します。

本来は3月議会が予算議会ですが、市長選があった関係で、今議会が本予算を審議する議会になります。

日本共産党は、今大問題となっている下関北九州道路の中止を求めて論戦します。また北橋市長の新任期にのぞむ基本姿勢を質し、くらしと平和をめぐる切実な要求を取り上げて論戦します。

日本共産党の本会議質問予定者



石田康高議員
八幡西区



藤元聡美議員
八幡東区



出口成信議員
小倉北区



田中光明議員
八幡西区



山内涼成議員
若松区



藤沢加代議員
小倉南区



高橋都議員
門司区



柳井誠議員
小倉南区

※質問日時は6月6日(木)に決まります。

日本共産党議員の質問内容(予定)

＜一部変更の可能性あります＞

石田康高議員(代表質疑、90分)

- ・消費税10%への増税が、くらしと地域経済に何をもたらすか
- ・米軍辺野古新基地建設にみる国民主権、地方自治、民主主義否定問題
- ・自衛官募集に対する住民情報の提供
- ・雇用と人口減対策
- ・子ども医療費の拡充
- ・国民健康保険料の引き下げと、子どもの均等割の減免
- ・中小企業対策
- ・折尾地域対策
- ・下関北九州道路問題
- ・交差点事故の防止対策

藤元聡美議員(一般質疑、30分)

- ・フードバンクにかかわる問題
- ・防災教育
- ・八幡図書館整備

出口成信議員(一般質疑、30分)

- ・シャント発声法に必要な日常付属品への補助
- ・視覚障害2種への有料道路の通行料金割引
- ・視覚障害者の生活用具の支給品目の拡充
- ・市営住宅居住者の修繕負担区分の見直し

田中光明議員(一般質疑、30分)

- ・教育問題(専科指導、教科担任制)
- ・平和資料館の展示
- ・最低賃金の全国一律化

山内涼成議員(一般質疑、30分)

- ・幼児教育・保育の無償化にかかわる問題
- ・交通弱者対策

藤沢加代議員(一般質疑、30分)

- ・埋蔵文化財センターの八幡市民会館への移転計画
- ・城野遺跡方形周溝墓の損壊

高橋都議員(一般質疑、30分)

- ・放課後児童クラブにかかわる問題
- ・学校給食費への助成
- ・市営住宅浴槽への追い炊き機能付き給湯器の設置

柳井誠議員(一般質疑、30分)

- ・健康寿命延伸のとりくみ
- ・生活保護の申請の円滑化
- ・学校給食調理業務の環境改善

6月議会日程

5月30日(木)	本会議(開会)
6月7日(金)	代表質疑
6月10日(月)	代表質疑
6月11日(火)	一般質疑
6月12日(水)	一般質疑
6月13日(木)	一般質疑
6月14日(金)	予算特別委員会
6月17日(月)	予算特別委員会
6月18日(火)	予算特別委員会
6月19日(水)	予算特別委員会
6月21日(木)	予算特別委員会(市長質疑)
6月24日(月)	常任委員会
6月25日(火)	予算特別委員会
6月26日(水)	本会議(閉会)

請願・陳情の締切は6月14日(金)

市政懇談会のご案内

●6月3日(月) 18:30

●八幡西生涯学習センター大会議室
(黒崎駅横・コムシティ3階)

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2019・5・23
No.543

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL(093)582-2646・FAX(093)582-4113

ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



下関北九州 道路

利益誘導の“^{そんな}村度道路” 道理のなさはいよいよ明らか

下関北九州道路計画をめぐる国土交通副大臣の「村度」発言は、計画の道理のなさをいよいよ浮き彫りにしました。政権中枢の政治家の地元だから公共事業を持っていくというのは、文字通りの利益誘導です。同時に推進側が力説した下北道路の「必要性」も矛盾に満ちたものであることが明らかになっています。



石田康高市議

異常気象時、災害時に通れる道路は想定外（市当局）

北九州市はこの間、災害時の代替道路として下関北九州道路の役割を強調しています。しかし石田康高市議が、4月17日の建設・建築委員会でこの点を、「どういう道路と思われているのか」と質すと、「異常気象や災害時に、…車両が通行できますよ。そこまでを求めているものではない」（課長）「想定していない」（局長）と答弁しました。

また市は、昨年行った住民・企業アンケートの結果を下北道路の必要性に結びつけようとしています。下北道路

田村貴昭衆議院議員が4月17日の国土交通委員会で行った質問です

計画凍結の解除と「代替道路」論に根拠なし

田村議員は08年当時、“財政面の事情”という理由で計画が一旦凍結されたが、その事情が変わったのかと追及。しかし石井国土交通大臣（公明）は整備手法などを挙げるだけで、まともに答えることはできませんでした。

また下北道路が災害時に「通ることができるのか」との質問についても、根拠は示せませんでした。

の建設を前提としたり、本市の財政負担を一切示さないなど、きわめて問題の多い内容となっています。

日本共産党が提案

サラリーマン並み

高すぎる国保料の大幅引き下げを

国保料が払えず、保険証を取り上げられ、医者にかかれず重症化する例があとをたちません。北九州市では、保険証を取り上げられた世帯が2018年度で11886世帯（※）と決して少なくありません。日本共産党は、いま大問題の高すぎる国保料の大幅引き下げを提案しています。

※有効期間半年の短期保険証世帯が7246、窓口全額負担が必要な資格証明書世帯が4640。

1兆円の公費投入で（全国知事会も要求）

国保は加入者の8割近くが、無職や非正規など低所得世帯であり、**負担軽減には公費負担を増やす以外にありません**。全国知事会も要求していることです。日本共産党は1兆円の国費を投入し、国保料の均等割・世帯割の負担をなくすよう提案しています。

財源は、富裕層・大企業に応分の負担を求めます。株取引への課税20%を、欧米並みに30%にすれば、1.2兆円の財源をつくれます。

ストップ！大幅値上げ

安倍政権が都道府県につくらせた「標準保険料率」に合わせるよう各自治体に強要しており、国保料の大幅値上げがねらわれています。

しかし「住民の福祉の増進をはかる」（地方自治法）という目的のために自治体が行うことを、国は規制できません。一般財源から独自の繰り入れを行うなどで、値上げをおさえることはできます。

アスベストアナライザー（石綿検査機）活用で環境監視課と懇談

党市議団が2月議会で求め、北九州市が購入したアスベストアナライザー（石綿検査機＝建材片に機器を当て、約10秒でアスベストの有無を検知）の活用方法をめぐり環境監視課と懇談しました。田村貴昭衆議院議員、福岡建設労働組合が同席しました。

環境監視課は、熊本地震で成果を上げたこと、増加する解体工事での活用が見込まれることなどを説明しました。



●写真左はアスベストアナライザー。 ●写真右は、懇談の様子

日本共産党各議員の常任委員会配置

（◎は委員長、○は副委員長、☆は議運委員）

総務財政委員会	建設建築委員会	環境水道委員会	保健病院委員会	教育文化委員会	経済港湾委員会
○☆田中 光明	石田 康高	○荒川 徹	◎柳井 誠	藤沢 加代	山内 涼成
出口 成信			藤元 聡美	高橋 都	